

発生動向の概況

※今回の報告期間はお盆による医療機関の休診日を含んでいます。

日本紅斑熱の届出が第32週に1例(中予保健所管内在住)ありました。2026年は累計15例の届出があり、同時期では例年と比べて早いペースで増加し、過去10年で最多となっています。特に8月から10月にかけては患者が増加する傾向にありますので、注意が必要です。日本紅斑熱は重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などと同じくマダニが媒介する感染症です。野山や畑、草むらなどに入る場合は肌が露出しない服装を心がけ、マダニに忌避効果のある防虫スプレー(ディートやイカリジン含有)を使用するなど注意しましょう。屋外活動後は、衣類や体にマダニがついていないか確認し、咬まれていた場合は無理にマダニを引き抜かず、医療機関(皮膚科等)を受診し処置してもらいましょう。活動後、数週間以内に発熱や倦怠感などの症状が出た場合は、速やかに医療機関を受診してください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第32週4.19人から第33週3.55人と減少しましたが、2023年以降、比較的高い水準が続いています。松山市保健所で多発、中予保健所でやや多い状況です。突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感を呈し、まれに猩紅熱を引き起こす場合があります。感染予防のため、うがいや手洗い、咳エチケットを励行しましょう。

県内での感染症発生状況

■ **全数把握感染症** ※医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。

二類感染症：結核 5例

四類感染症：日本紅斑熱 1例(60歳代女性)

五類感染症：梅毒 4例(20歳代男性、30歳代男性2例、50歳代男性 2026年県内累計70例)

百日咳 1例(20歳代女性 2026年県内累計75例)

*その他、結核の届出が第31週に2例、多剤耐性緑膿菌感染症の届出が第31週に1例ありました。

■ **定点把握感染症** (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
新型コロナウイルス感染症	2.41	減少。すべての保健所で減少傾向。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.55	減少。松山市保健所で多発、中予保健所でやや多い。
手足口病	4.80	減少。すべての保健所で減少傾向。

■ **解析評価委員のコメントから** ※【中予】の解析結果は今回ありません。

新型コロナウイルス感染症：[東予] 横ばいです。

[南予] 多数の発生報告がありますが、減少傾向です。

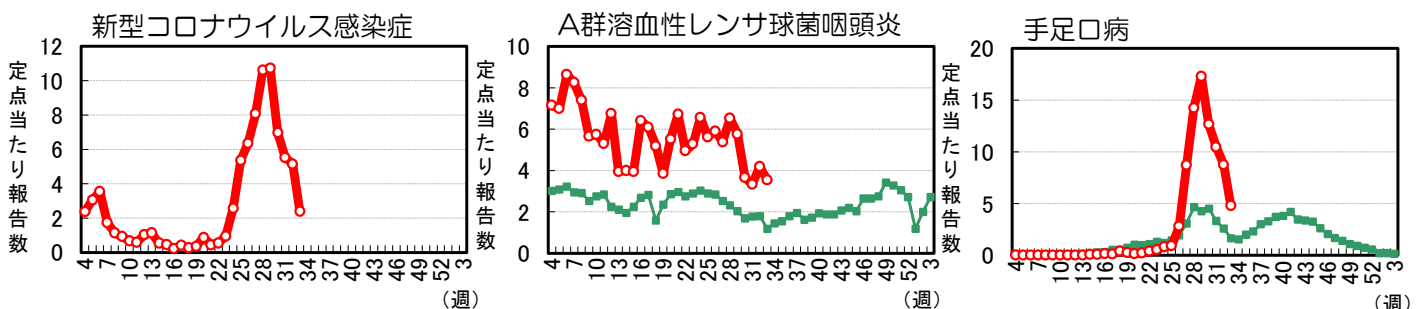
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：[東予] 横ばいです。

[南予] 少数報告されていますが、第32週と第33週で変わりありません。

手足口病：[東予] 減少しています。

[南予] 多数報告されていますが、減少傾向です。

■ **過去30週の動向** (—○—：過去30週の動向 —■—：過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。
感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

病原体検出情報

2026年8月18日現在

- 日本脳炎ウイルスの人への感染は、感染したブタ等の動物を蚊が刺咬・吸血し、その後人を吸血することにより引き起こされます。本県では、感染症流行予測調査事業の一環として、夏季に県内で飼育されているブタの抗体保有状況を調査し、日本脳炎ウイルスの蔓延状況を確認しています。
- 8月4日までに採血されたブタの検査結果は右の表のとおりです。

■ 愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況

採血月日	検査頭数	HI抗体陽性数 ¹⁾	2ME感受性抗体 ²⁾	
			検査件数	陽性数
7月 7日	10	0	—	—
7月 21日	10	0	—	—
7月 28日	10	0	—	—
8月 4日	10	1	—	—

1) ブタが日本脳炎ウイルスに感染した事があるかがわかります。HI抗体価が1:10以上を陽性とししました。

2) 最近感染したかどうかわかります。検査はHI抗体価が1:40以上の検体について実施します。

- 第29週に西条で採取された手足口病患者検体から、コクサッキーウイルス A6 型及びライノウイルス（重複感染）が1例検出されました。

■ 過去5週 検出病原体

(2026年7月13日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検 体	例数
29	7/13～7/19	西 条	手足口病	コクサッキーA6・ライノ	咽頭ぬぐい液	1

■ 月別病原体検出結果

検出病原体		検体採取月	2026						合計
		3	4	5	6	7	8		
ウイルス	アデノ			2				2	
	アデノ 1			1				1	
	コクサッキー A6		1		4	1		6	
	ライノ		1	1		2		4	
	ノロ	1						1	
ウイルス 計		1	2	4	4	3		14	
細菌	カンピロバクター			1				1	
	腸管出血性大腸菌 O157		1					1	
	A群溶レン菌		1					1	
細菌 計			2	1				3	

■ 臨床診断別検出結果 (2026年3月以降採取検体)

検出病原体	臨床診断名	咽頭結膜熱	A群溶レン菌咽頭炎	手足口病	感染性胃腸炎	合計
アデノ				1	1	2
アデノ1		1				1
コクサッキー A6				6		6
ライノ				4		4
ノロ					1	1
ウイルス 計		1		11	2	14
カンピロバクター					1	1
腸管出血性大腸菌 O157					1	1
A群溶レン菌			1			1
細菌 計			1		2	3

■ ARI 病原体定点 月別病原体検出結果

- 8月に採取された患者検体からインフルエンザウイルス AH1pdm09 型が1例、新型コロナウイルスが1例、ヒトメタニューモウイルスが1例検出されました。

検出病原体		検体採取月					2026							
		2025					1	2	3	4	5	6	7	8
検査項目	インフルAH1pdm09	1	1										1	1
	インフルAH3	1		5	20	20	13	2						
	インフルB(ビクトリア)						7	20	8	1				
	新型コロナ	19	19	17	12	4	1	3	2	1		6	6	1
	RS A	1			2	1							1	
	RS B	2	1	2	1	1	1		2					
	パラインフルエンザ	9	2	2	2		1						2	
	ヒトメタニューモ				1			2			1	4	3	1
	ライノ/エンテロ	4	3	8	15	3	4	1	4	2	2	4	2	
	アデノ	2				1	1							
検出なし		15	7	10	10	16	14	18	14	16	5	8	3	2
検査検体数		47	33	43	56	43	40	46	30	20	8	19	17	5

※表中の検出結果は1検体からの重複感染を含みます。

愛媛県 定点把握五類感染症

2026年 第 33 週 (2026.8.10～8.16)

■患者報告数		ARI 定点						小児科定点												
		1) 急性呼吸器感染症	2) インフルエンザ		3) 新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎					
			*迅速検査A型	*迅速検査B型																
保健所別	四国中央	66				13	3	2		7		1					四国中央	保健所別		
	西条	207	1	1		12	1		5	12	1	22		3			西条			
	今治	91	6	6		2			3	4	2	14			2		今治			
	松山市	519	3			31		1	49	20	2	33			5		松山市			
	中予	176	2			7		1	8	4		18		1	2		中予			
	八幡浜	161				22		1	5	14		8			1		八幡浜			
週推移	宇和島	150	1	1		2			1	1							宇和島	週推移		
	愛媛県	1370	13	8		89	4	5	71	62	5	96		4	10		愛媛県			
	1週前	2056	14	9	1	196	9	2	88	84	6	184		10	44	1	1週前			
	2週前	2138	5	1		210	17	10	70	71	10	220	2	5	39		2週前			
年齢別（ARI 定点疾患）	3週前	2190	14	8		265	14	2	77	75	13	266	1	8	44		3週前	年齢別（小児科定点疾患）		
	0-5ヶ月	107	1	1		6	2	1	2	1	1	1	2	2	1	1	0-5ヶ月			
	6-11ヶ月					9			11	4							7		2	1
	1	13				6			44	2							1		1	1
	2	5				11			10										4	2
	3	6				4			4										1	4
	4	5				7			6	1							1			5
	5	262	2	1	1	2	1	7	3	1	2	1	1	1	5					
	6					9		6	4		8									
	7					5		3	3		2				7					
	8	70	1	1		3	1	6	3	2	4	1	1	1	1	9				
	9					9		5	4		2					10-14				
	10-14					1		1	3		3						15-19			
	15-19					3		4			20-29									
	20-29					3		1	1		4					30-39				
	30-39					2		1	1		3					40-49				
	40-49	1				1		4	3		1					19				
	50-59					4		4	50-59											
60-69	4					4		60-69												
70-79	1					1		70-79												
80-	49					49		80-												

■ 定点当たり報告数

保健所別	四国中央	16.50		-	-	3.25	1.50	1.00		3.50		0.50					四国中央	保健所別
	西条	34.50	0.17	-	-	2.00	0.25			1.25	3.00	0.25	5.50		0.75		西条	
	今治	22.75	1.50	-	-	0.50				1.50	2.00	1.00	7.00			1.00	今治	
	松山市	47.18	0.27	-	-	2.82		0.17	8.17	3.33	0.33	5.50				0.83	松山市	
	中予	44.00	0.50	-	-	1.75		0.50	4.00	2.00		9.00		0.50	1.00		中予	
	八幡浜	40.25		-	-	5.50		0.50	2.50	7.00		4.00				0.50	八幡浜	
	宇和島	37.50	0.25	-	-	0.50			0.50	0.50							宇和島	
	愛媛県	37.03	0.35	-	-	2.41	0.20	0.25	3.55	3.10	0.25	4.80		0.20	0.50		愛媛県	

1) 症例定義(咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例)に一致し、急性呼吸器感染症と診断された患者。
(インフルエンザ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、クラミジア肺炎、新型コロナウイルス感染症、百日咳、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎等を含む。)

2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

3) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。

*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計しており、重複感染の場合はA型・B型両方に計上しています。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
ARI 定 点	38	4	6	4	12	4	4	4
小 児 科 定 点	21	2	4	2	7	2	2	2

注) 表中の報告数は8月19日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。
注2) 休診のため、松山市保健所のARI定点は11、小児科定点は6となっています。

愛媛県 定点把握五類感染症 2026年 第 33 週 (2026.8.10～8.16)

		眼科定点		基幹定点								
		急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	1) ロタウイルス胃腸炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎	4) インフルエンザ（入院）	5) 新型コロナウイルス感染症（入院）		
患者報告数	保健所別	四国中央 西条 今治	-	-			1		1	2	四国中央 西条 今治	保健所別
		松山市 中予	1	-	-	-	-	-	-	-	松山市 中予	
		八幡浜 宇和島	1								八幡浜 宇和島	
		愛媛県	2				1		1	2	愛媛県	
週推移	1週前		3				2			3	1週前	週推移
	2週前		7		1		3			3	2週前	
	3週前		6			1	6			7	3週前	
年齢別（眼科定点疾患）	0-5ヶ月										0	年齢別（基幹定点疾患）
	6-11ヶ月										1-4	
	1						1				5-9	
	2										10-14	
	3										15-19	
	4										20-24	
	5										25-29	
	6		1								30-34	
	7										35-39	
	8										40-44	
	9										45-49	
	10-14										50-54	
	15-19		1								55-59	
	20-29										60-64	
	30-39										65-69	
	40-49										70-	
	50-59											
	60-69											
	70-											

■ 定点当たり報告数

保健所別	四国中央 西条 今治	-	-				1.00		1.00	2.00	四国中央 西条 今治	保健所別
	松山市 中予		0.33	-	-	-	-	-	-	-	松山市 中予	
	八幡浜 宇和島		1.00								八幡浜 宇和島	
	愛媛県		0.29				0.17		0.17	0.33	愛媛県	

1) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）。

2) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。

3) オウム病を除く。

4) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

5) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

（参考）保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
眼 科 定 点	8	-	1	1	3	1	1	1
基 幹 定 点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は8月19日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

注2) 休診のため、西条保健所の眼科定点は0となっています。

愛媛県 定点把握五類感染症

2026年 第 32 週 (2026.8.3～8.9)

		ARI 定点					小児科 定点											
		1) 急性呼吸器感染症	2) インフルエンザ		3) 新型コロナウイルス感染症		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎		
			*迅速検査A型	*迅速検査B型														
■患者報告数	保健所別	四国中央	128	1	1	30	3			11		8		1	4		四国中央	保健所別
		西条	267	2	2	29			6	22	1	56			2		西条	
		今治	157	3	3	11			3	4	4	31		3	2		今治	
		松山市	858	7	3	50	5		63	22	1	54		4	23		松山市	
		中予	243	1	1	3			10	10		20			3		中予	
		八幡浜	243			65	1	2	5	15		15		2	9		八幡浜	
週推移	宇和島	160			8				1						1	1	宇和島	週推移
	愛媛県	2056	14	9	1	196	9	2	88	84	6	184		10	44	1	愛媛県	
	1週前	2138	5	1	210	17	10	70	71	10	220	2	5	39			1週前	
	2週前	2190	14	8	265	14	2	77	75	13	266	1	8	44			2週前	
年齢別（ARI 定点疾患）	3週前	2640	7		408	9	3	121	77	14	363	1	6	62			3週前	年齢別（小児科 定点疾患）
	0-5ヶ月	137			2				2		3						0-5ヶ月	
	6-11ヶ月				8	1		1	7		19		1	6			6-11ヶ月	
	1		2	1	24	3	2	9	14		83		7	16			1	
	2	1012	1	1	26	1		9	12	1	48		2	10			2	
	3				33	3		7	11		12			1			3	
	4		1		18	1		5	7		7			3			4	
	5				11			10	10	2	7			3			5	
	6				12			9	3	1	3			3		1	6	
	7	438			9			10	3					1			7	
	8				9			6	3	1				1			8	
	9				6			6	2					1			9	
	10-14	117			13			11	9	1	1						10-14	
	15-19	24	1		3			1									15-19	
	20-29	34	1	1	3			4	1		1						20-	
	30-39	31	2	1	2													
	40-49	39	1	1	6													
	50-59	39			4													
	60-69	51			3													
	70-79	67	4	4	1													
	80-	67	1		3													

■ 定点当たり報告数

保健所別	四国中央	32.00	0.25	-	-	7.50	1.50		5.50		4.00		0.50	2.00		四国中央	保健所別
	西条	44.50	0.33	-	-	4.83		1.50	5.50	0.25	14.00			0.50		西条	
	今治	39.25	0.75	-	-	2.75		1.50	2.00	2.00	15.50		1.50	1.00		今治	
	松山市	71.50	0.58	-	-	4.17	0.71	9.00	3.14	0.14	7.71		0.57	3.29		松山市	
	中予	60.75	0.25	-	-	0.75		5.00	5.00		10.00			1.50		中予	
	八幡浜	60.75		-	-	16.25	0.50	2.50	7.50		7.50		1.00	4.50		八幡浜	
	宇和島	40.00		-	-	2.00		0.50						0.50	0.50	宇和島	
	愛媛県	54.11	0.37	-	-	5.16	0.43	0.10	4.19	4.00	0.29	8.76		0.48	2.10	0.05	愛媛県

1) 症例定義(咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例)に一致し、急性呼吸器感染症と診断された患者。
(インフルエンザ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、クラミジア肺炎、新型コロナウイルス感染症、百日咳、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎等を含む。)

2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

3) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。

*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計しており、重複感染の場合はA型・B型両方に計上しています。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
ARI 定 点	38	4	6	4	12	4	4	4
小 児 科 定 点	21	2	4	2	7	2	2	2

注) 表中の報告数は8月12日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2026年 第 32 週 (2026.8.3～8.9)

		眼科定点		基幹定点								
		急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	1) ロタウイルス胃腸炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎	4) インフルエンザ（入院）	5) 新型コロナウイルス感染症（入院）		
■ 患者報告数	保健所別	四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島	- 1				2			2 1	四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島	保健所別
	週推移	愛媛県 1週前 2週前 3週前	3 7 6		1	1	2 3 6			3 3 7 1	愛媛県 1週前 2週前 3週前	週推移
	年齢別（眼科定点疾患）	0-5ヶ月 6-11ヶ月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10-14 15-19 20-29 30-39 40-49 50-59 60-69 70-	1 1				2			1 2	0 1-4 5-9 10-14 15-19 20-24 25-29 30-34 35-39 40-44 45-49 50-54 55-59 60-64 65-69 70-	年齢別（基幹定点疾患）

■ 定点当たり報告数

保健所別	四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島	- 1.00					2.00			2.00 1.00	四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島	保健所別
愛媛県		0.38					0.33			0.50	愛媛県	

- 1) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）。
- 2) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
- 3) オウム病を除く。
- 4) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
- 5) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

(参考) 保健所別定点数

定	点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
眼	科	定	8	-	1	1	3	1	1	1
基	幹	定	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は8月12日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 全数把握感染症 2026年第32、33週 (2026.8.3~8.16)

[illegible]

・表中の報告数は医療機関からの届出数を保健所ごとに集計したもので、患者の住所を示すものではありません。

・医療機関からの診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(8.19集計)

全国 定点把握感染症 2026年 第31、32週（2026.7.27～8.9）

（定点当たり報告数）

		ARI定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点				
		1) 急性呼吸器感染症	2) インフルエンザ	3) 新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	4) ロタウイルス胃腸炎	5) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	6) クラミジア肺炎
31週	愛媛県	56.26	.13	5.53	.81	.48	3.33	3.38	.48	10.48	.10	.24	1.86			.88		.17		.50	
	近畿県																				
	香川県	39.87		3.09	.23	.46	.85	4.92	.23	2.46	.08	.23	2.23			.20				.40	
	徳島県	28.76		2.97	.33	.10	.62	2.67	.43	6.00	.05	.43	1.81								
	高知県	37.03	.05	3.54	.37	.05	.32	1.47	.05	2.63		.21	.89							.38	
	全 国	44.96	.37	1.70	.51	.30	1.37	3.43	.26	6.03	.04	.30	1.59	.04	.01	.49	.00	.02	.05	.35	.01
	北海道	36.28	.25	.27	.16	.45	2.06	1.74	.34	7.33	.05	.23	1.63	.02		.10			.09	.30	.04
	東北	48.68	.60	.82	.16	.20	.91	2.40	.26	10.82		.38	2.13	.05		.36		.03	.03	.17	
	関東	51.68	.62	.80	.46	.22	1.34	3.46	.28	7.90	.02	.28	1.85	.04	.01	.46			.09	.61	
	甲信越北陸	43.64	.26	1.16	.53	.24	1.51	4.20	.08	5.74	.04	.23	1.19	.05		.48		.04	.02	.33	
	東海	46.52	.14	3.07	.35	.30	1.02	3.64	.16	6.09	.07	.26	1.98	.07	.01	.30		.05	.03	.87	
	近畿	34.80	.14	1.74	.46	.38	1.24	3.35	.27	4.94	.09	.23	1.53	.04	.02	.37		.06	.11	.16	.06
32週	中国四国	43.07	.11	3.58	.36	.31	1.73	3.17	.22	3.59	.03	.27	1.20	.02		.41		.01	.03	.32	
	九州沖縄	43.93	.46	2.53	1.33	.47	1.63	4.28	.42	1.47	.05	.48	.87	.04		1.36	.01		.04	.15	

（8月5日集計）

32週	愛媛県	54.11	.37	5.16	.43	.10	4.19	4.00	.29	8.76		.48	2.10	.05		.38				.33	
	近畿県																				
	香川県	39.04	.13	2.96	.23	.31	.62	4.31		1.92		.38	.85	.08		1.20				1.60	
	徳島県	32.19	.12	3.97	.10	.10	.86	3.38	.14	6.67	.14	.29	1.19							.57	
	高知県	36.76		4.38	.89	.05	.47	1.89	.16	1.74	.05	.11	1.37							.50	
	全 国	44.08	.52	1.79	.64	.27	1.30	3.46	.25	4.69	.04	.29	1.31	.03	.00	.50	.00	.01	.05	.40	.01
	北海道	31.66	.33	.36	.14	.37	1.78	1.70	.20	8.27	.03	.19	1.72	.03		.03			.04	.87	.09
	東北	50.15	.89	1.15	.19	.20	.97	2.63	.19	10.53	.04	.32	2.25	.03		.25	.02			.22	.02
	関東	50.30	.81	1.04	.63	.18	1.20	3.37	.22	5.34	.03	.30	1.38	.04		.57		.01	.06	.64	.01
	甲信越北陸	43.14	.55	1.37	.78	.23	1.26	4.11	.21	5.08	.04	.24	1.53	.01		.62		.02		.33	
	東海	44.45	.39	3.03	.38	.18	1.00	3.48	.17	4.65	.04	.27	1.35	.03		.30			.08	.67	
33週	近畿	33.71	.22	1.77	.48	.39	1.16	3.37	.30	3.44	.05	.22	1.21	.03	.01	.22		.02	.16	.28	.03
	中国四国	43.14	.23	3.85	.46	.24	1.73	3.64	.16	2.97	.04	.35	1.16	.03		.31			.05	.47	
	九州沖縄	44.79	.44	2.00	1.63	.48	1.72	4.37	.48	1.31	.03	.40	.56	.05		1.55			.01	.11	

（8月12日集計）

- 1) 症例定義（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例）に一致し、急性呼吸器感染症と診断された患者。（インフルエンザ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、クラミジア肺炎、新型コロナウイルス感染症、百日咳、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎等を含む。）
- 2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 3) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。
- 4) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）。 5) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く 6) オウム病を除く。

全国 全数把握感染症 2026年 第31、32週 (2026.7.27~8.9)

[illegible]

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(8.12集計)